

令和5年11月29日

大刀洗町 × 一般財団法人医療情報健康財団
町民の健診事業・健康づくり事業への協力
包括連携協定締結式及び健康づくり応援寄附金の贈呈について

■【全国初】健診機関と自治体の包括連携協定

当財団は全国初となる自治体との健康づくり事業に関する包括連携協定を締結いたしました。

予防医学事業をとおして医学の進歩と公衆衛生の向上に貢献すること理念として、今後時代の変遷とともにその時々々のニーズにあわせた予防医学事業を推進してまいります。初の試みではありますが、大刀洗町を中心に福岡県全体の健康意識向上と特定健診・がん検診の受診率向上につながるよう邁進いたします。



■連携協定の経緯

自治体で実施される特定健康診査・特定保健指導、各種がん検診等について、近年コロナウイルス感染症の影響によって受診を控える方が増え、大きく受診率が下がっており、多くのがん種で検診での発見例が減少し、検診以外で見つかる例が増加しています。現在、早期発見がんが減っている傾向にある中、当財団として何が出来るかを模索した時、受診者へ安心安全な受診環境の提供や適正な受診勧奨、がん検診を受診いただく為の啓発活動等々、当財団だけでは出来ないことを自治体と連携することが必要であると考えました。

国が掲げるがん検診受診率 60%を達成するためには官民連携が必要です。

当財団が導入する予約 DX 化により、健診予約に対する煩わしさをスマート化するなど、住民健診を受診することに対してのハードルを下げることで受診者増を目指し、また令和 6 年度からは新たな取り組みとして「けんしんファースト予約（会員制）」を導入します。

この取り組みについても県下初の取り組みであり、大きな期待が寄せられています。

このように大刀洗町と当財団の理念や目標が一致したことで今回の協定が実現することになりました。

■具体的な連携内容

- 特定健診・特定保健指導・がん検診等の受診勧奨及び情報提供
- 受診しやすい健診体制づくりの構築
- 健診データより大刀洗町の傾向などの分析や研究事業の協働実施
- 研究発表
- 各種イベントでの健康ブースへの協力
- がん検診の啓発イベントにより健康意識を高める
- 健康に関する教室やイベントの企画や案内や参加の呼びかけ勧奨
- 健康ブースの出展
- 「タチアライ健康宣言キャンペーン」の普及・啓発、協賛

■健康づくり応援寄附金

大刀洗町の健康づくり事業に対して寄附金（100 万円）を贈呈いたしました。

■事業に関するお問い合わせ

[事業・広報担当]

一般財団法人 医療情報健康財団 事業推進部 永末 雄大（ナガスエ ユウダイ）

TEL : 080-7996-4739 Mail : y-nagasue@kenko-zaidan.or.jp

※11 月 30 日（木）西日本新聞へ掲載して頂きました。